



学校名 熊谷市立石原小学校

校長氏名 加藤 信

一 本校の沿革

明治六年、正則小学熊谷学校が熊谷寺に開設され、現在に引き継がれる石原小、東小、西小を含む小学校のもとと考えられています。しかし、地域が広すぎるため、同年十二月には、石原西学校が真宗寺に、明治七年石原東学校が松岩寺近くの民家に開設されました。明治二十年十一月に統合され、石原二丁目に石原小学校が開設されました。石原小学校は石原村立でしたが、熊谷町と合併すること、一時期分教場となりましたが、独立しようという運動が起こり、「熊谷町外組合立石原小学校」として、明治二十二年五月十六日に独立し、この日を開校記念日としています。

二 校章・校歌制定に係るエピソード

1 校章

- ① 制定年 昭和十七年
- ② 特徴など 石原小の校章は石原米をイメージして、お米のマークが入っています。以前は違うデザインでしたが、昭和十七年に校旗を新調する際、現在のものになりました。

2 校歌

- ① 制定年 昭和二年
- ② 特徴など 昭和天皇が即位したことを記念に、昭和三年十一月一日に作られました。作詞は、石坂養平先生、作曲は下総皖一先生でした。校歌の一番二番三番に校訓「強く、正しく、睦ましく」が織り込まれています。太平洋戦争がはじまり、日本で「国民学校令」が出されたため、石原小学校は「石原国民学校」という名前になりました。「石原小学校」のところに「石原国民学校」と歌詞を変えて、メロディは国民学校の方は最後が上がつて、土気の高揚を図っていたようです。

【参考文献】石原学副読本「わたしたちの石原」

熊谷市立 石原小学校 校歌

石坂 養平 作詞
下總 統一 作曲

♩=112 活発に

mf

1. はるか に の ぞ - む ち ち ぶ ね
の ゆき げ も ま た - て も え い ず
る わ か き - み ど り そ わ れ ら が す が
た お お い し わ ら し ょ う が つ こ う

一、はるかに望む 秩父嶺の

雪解も待たで もえいずる
若き緑ぞ われらが姿
おお 石原小学校

二、広野うるおす 荒川の

めぐりめぐりて 海に入る
清き流れぞ われらが理想
おお 石原小学校

三、桜堤に きそい咲く

ひとつびとつ の 花びらの
睡むにいたり われらがつどい
おお 石原小学校